

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

7

2014 No.718

3 はじめの言葉

4 作り手も売り手も

顧客本位の再見直しを

田原文夫

必要は発明の母である。言い尽くされた文言でありながら、コンピュータ産業界には定着していない。はじめに発明ありき、「こんな出来ちゃいました」「使って見て下さい」が基本にあるようだ。口先だけの「マーケティング論」はあっても、あくまでも顧客のニーズに重点／力点／視点をおいていない。製品／商品開発の基本思想もそうなら、営業販売の基本姿勢も、顧客本位から大きく逸脱している。昨今の日本コンピュータ産業なかならずコンピュータメーカーの凋落原因についていろいろ取り沙汰されているところだが、文字通りの「顧客本位」というビジネスの基本原則に立った発想を改めて求めたい。

1 1 情報社会を考える その46

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

安全な職場でなくなる自衛隊

「イラク戦争で現地派遣された日本の自衛隊が、移動する際には、フィリピン軍に護衛されていたというのは、何とも情けない。自衛隊は護衛するフィリピン軍よりも数段優れた兵器で武装しながらだよ」と口角をとがらせて力説された。政権与党の首脳が聞いたら大いに喜ぶ指摘かもしれない。

しかし、より貧弱な兵器しか持たないフィリピン軍が何故にして命を賭してまで日本の自衛隊を護衛したのか。ごく素直に、護衛代として日本政府がフィリピン政府に対して大枚の資金提供をしたからだと考えるのが妥当であろう。

1 3 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その41

水田 浩

オープンガバメント OG 6 工業化社会をデジタル化する

社会全体が工業社会から情報社会に移る第一段階ではICT（情報通信技術）が個々の組織の効率化のために、それぞれが独立して導入され、第二段階では工業社会の組織はそのままにして組織間をICTで統合してゆく。社会全体を情報社会に変える準備段階である。第一段階での最初のデジタル化運動が 1994 年から世界規模で行われたCALS運動であった。そして次に行われたのが電子政府運動であった。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (39)

AADM 手法のための保証ケース作成法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本連載では、オープングループのアーキテクチャ記述言語である Archimate[1] (アーキメイト) の 3 階層モデルを紹介した。階層には、ビジネス層、アプリケーション層、テクノロジー層がある。この階層ごとに保証方法を構成できる。前回、保証ケースを用いて、テクノロジー層モデルの妥当性を保証する手法を説明した。今回は、アーキテクチャ開発手法モデル ADM を高信頼化する AADM (Assured ADM) [2] を具体化するために、アーキテクチャに対する保証ケースを作成する方法を説明する。

2 6 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 5 7 回 訪日外国人観光客 2 0 0 0 万人

を目指すには (1)

根本忠明

外国人観光客の訪日数は、昨年暮れようやく 1000 万人を実現した。政府は、訪日外国人数を、2020 年の東京オリンピック開催に 2000 万人、2030 年には 3000 万人にするという行動計画をまとめている。この倍増計画は、本当に実現可能なのか。今回は、観光立国を実現化させるための課題について考えてみる。最初は、『日本の夜は早い』問題について検討することにする。

2 8 続インテリジェンスへのいざない 54

世代間の情報伝達

どう実現していくか

今井 武

次世代への情報伝達は、まさに後進の育成に直結している。ここ 20 年余の間、目先の人件費削減の目標設定を重要視したことから、先人がこれまで培い、伝承してくれた様々なノウハウ、エンジニアリング能力が国外に流失してきている。次世代の育成をどう実現していくか。

3 1 一味違うウェブ検索

第四十五話 資料の読み方・探し方 (3)

ぐうのうえぶへい

このシリーズ最後に、人々の常識を裏切る「意外性のある」資料の見つけ方について、説明することにする。情報が氾濫する時代は、人々の常識を裏切る「それ本当?」、「ウソ!」といった情報を発信することが必要になる。「意外性のある情報」を見つけて、更にプラス α の情報を加味して、自分の情報として発信することが大切なのである。

3 3 しすてむこらむ

IBM 迅速な垂直統合型システムを実現

メゾフォルテ

3 4 連載 四字熟語力トレーニング

すぎやまちヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2013年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなチーム
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港フル稼働とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働その二 安眠稼働と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp